

笑顔と感謝と決意の おもてなしウェディング

ブライダルプランナー 和田ななほ さん



招待状やドレス、会場装飾までオーダーメイドの「手作り結婚式」をプロデュースされている、和田ななほさんにお話を伺いました。舞鶴だけでなく、近隣の市町でも結婚式を手掛けておられます。「舞鶴ふるさとWedding」として、赤れんが倉庫など地域に根ざした場所での結婚式は、若いカップルにとっても好評です。

サンルージュ
Sun Luce 誕生まで

京都府与謝野町出身の和田さんが、結婚式に携わるようになったきっかけは地元のレストランでスタッフとして働いていた時のレストランウエディングでした。

新郎新婦のお2人やお客様の幸せいっぱいの笑顔、心に響く感動を間近で体験したこと。調理スタッフ・司会・カメラマンなど、別の業種の人たちが一丸となって結婚式のために最高の仕事を目指す姿。当日、表舞台に出ることのないスタッフ全員の気持ちは必ず新郎新婦だけでなくお客様にも伝わる。何より「喜び」が和田さんの中に残ったそうです。その気持ちは忘れられずに、名古屋市の結婚式場や福知山市内のゲストハウスなどで7年ほどブライダルプランナーとして学ばれました。そして、次第にお客様の想いをもっと「カタチ」にしていきたいと2011年に独立し、舞鶴市で結婚式の企画会社「Sun Luce」を創設されました。

太陽の光のよひ…

「Sun Luce」というお店の名前は、「太陽の光」という意味で、結婚式がその場だけで終わるのではなく、関わった人たちが太陽のようにずっと照らし続ける、そんな関係ができれば…という和田さんの思いが込められています。1つの結婚式を作り上げるためにかかる期間は半年から1年。お客様「組」と組のペースに合わせて打ち合わせをするため、毎週打ち合わせをしたり、1回の時間が8時間以上になることもあるそうです。また、ありのままの自分でお客様と向き合うことも大切にされています。だからこそ、新郎新婦のお2人も

素直な思いを伝えてくれる。気取らず、背伸びせず、でも安心して頼ってもらえる存在になれるようにプランナーとしてだけでなく、一人の人として一生勉強していきたいそうです。

手作りの結婚式は、新郎新婦の準備もたくさんあり、お互いの素の姿が見えるので、打ち合わせの最中に2人がけんかされることもよくあるとか。「最初から何でも言い合える関係が大切で、それを乗り越えることで夫婦になれると思うので、結婚式まででどんどん衝突してもらえば(笑)」と和田さん。最初に仲直りする方法を決め、けんかのあとは必ず仲直りすることが大切だと。結婚式の後、お客様から「このお店にお願いしてよかった!」と笑顔で言われると、疲れも飛んで、たまたま嬉しそうです。

世界にひとつだけの結婚式

印象に残っている結婚式を伺うと、式の2日前に新婦のお父さんが亡くなり、式を中止する意見も出た中、天国のお父さんに見せよう…と行った結婚式。2人を支えた人たちのエネルギーや家族のきずな、人のつながりの大切さを感じさせられたそうです。そしてまた、結婚式に両親がいることは決して当たり前ではないということも。結婚式は単にすれればいい、お金をかければいいのではなく、育ててくれた両親、支えてくれた友人へ、これまでの感謝と夫婦として歩む決意を表す「おもてなしの場」にしたいという思いは、より一層強くなると語りてくれました。

和田さん、これからも「世界にひとつだけの結婚式」をたくさんプロデュースして舞鶴を笑顔でいっぱいにしてください!



まいつる花図鑑

vol. 115



イワナシ (ツツジ科)

見ごろ 3～5月頃 (高地では6～7月頃)

北海道南部から本州の山地の林縁や岩場などに生える常緑の小低木。莖は細く地上を這い、長さ25㍍くらいで多少枝分かれし、全体に赤褐色の毛をつける。葉は硬く長楕円形で長さ4～10㍍、幅2～4㍍くらいになる。縁に毛をまとい、先端は尖り、地面を覆うようにつける。花は、長さ約1㍍で先は5裂し、ややそり返る。名前の由来は、山地の岩場などに生え果実の味がナシに似ていることから。

【協力】瓜生勝朗 市文化財保護委員(植物分野)